

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、第130期から第135期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託証券「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）」を通じて、米ドル建てブラジル株式上場投資信託証券（ETF）とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を実質的に構築し、安定した配当収入およびオプションプレミアムの確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。加えて、米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略の投資成果の享受を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒「ファンド情報」⇒「ファンド情報トップ」⇒当ファンド名を選択または検索⇒「各種資料のダウンロード」⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ブラジル株式ツインαファンド （毎月分配型） ツインα・コース

商品分類（追加型投信／海外／株式）

第23作成期

第130期（2025年11月25日） 第133期（2026年2月25日）
第131期（2025年12月25日） 第134期（2026年3月25日）
第132期（2026年1月26日） 第135期（2026年4月27日）
作成対象期間：2025年10月28日～2026年4月27日

第135期末（2026年4月27日）	
基準価額	213円
純資産総額	5,696百万円
第130期～第135期	
騰落率	23.4%
分配金合計	30円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

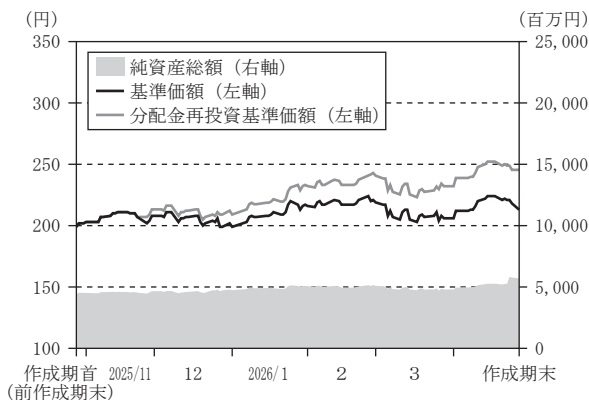
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

基準価額等の推移



第130期首：199円

第135期末：213円（既払分配金30円）

騰落率：23.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年10月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れているUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）III—ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、株式カバードコール戦略、通貨カバードコール戦略はマイナス寄与しましたが、ブラジル株式（米ドル建てETF）が上昇したことなどのプラス寄与が上回った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）III—ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	24.6%
マネープールマザーファンド	0.3

1 万口当たりの費用明細

項目	第130期～第135期		項目の概要
	2025/10/28～2026/4/27		
	金額	比率	
平均基準価額	208円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	2円 (1) (1) (0)	0.729% (0.275) (0.438) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.065 (0.065)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	2	0.802	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

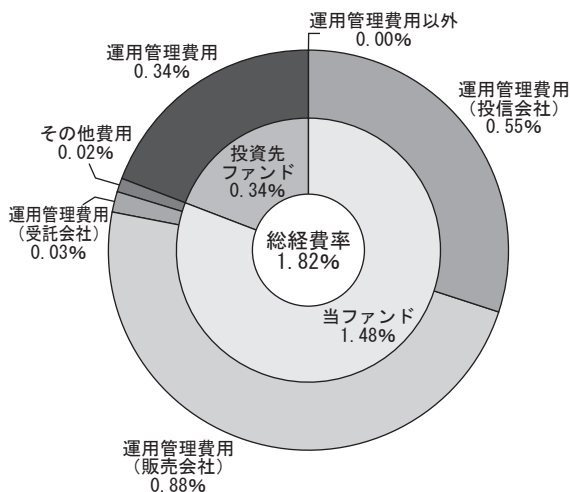
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

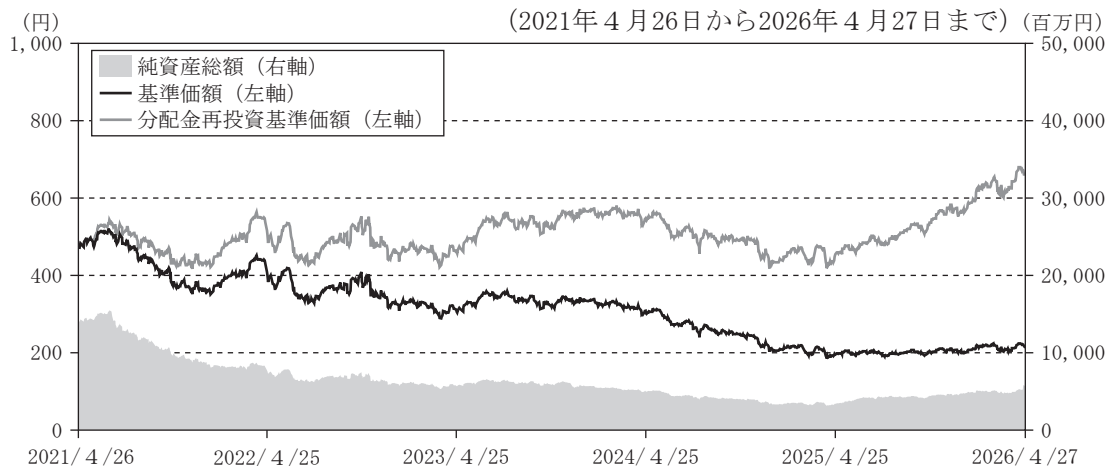
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、2021年4月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2021年4月26日 期初	2022年4月25日 決算日	2023年4月25日 決算日	2024年4月25日 決算日	2025年4月25日 決算日	2026年4月27日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	471	409	310	303	196	213
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	60	60	60	60
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	9.6	△ 9.8	17.1	△ 16.7	45.5
純資産総額 (百万円)	13,877	7,717	5,727	4,976	3,401	5,696

(注) 当ファンドはブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ ブラジル株式市況

ブラジル株式市場は上昇しました。作成期初から2025年11月上旬にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）とブラジル中央銀行による2026年の利下げ期待が高まったことなどから上昇しました。その後2026年1月中旬にかけては、ほぼ横ばいで推移しました。1月下旬は、グリーンランドの取得問題を巡る米欧摩擦の懸念が薄れたことや、資源価格の上昇、利下げ期待などからブラジル株式市場への海外資金の流入を受け、大きく上昇しました。2月はほぼ横ばいで推移しました。3月に入ると、イラン戦争の開始を受け、原油価格が上昇し、インフレ懸念が高まったことにより中旬にかけて下落しました。3月下旬から作成期末にかけては、イラン戦争終結やホルムズ海峡通航再開への期待が高まり、原油価格が大きく下落したことなどから大きく上昇しました。

■ 為替市況

円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。作成期初から2025年11月中旬にかけては、日銀の植田総裁、片山財務相、城内経財相の三者会談で円安是正に関する具体的な対応が示されなかったことが伝わり、円安米ドル高となりました。11月下旬から2026年1月中旬にかけては、横ばいで推移しました。1月下旬は、日米協調の為替介入が行われるとの観測が広がり、円高米ドル安となりました。2月前半は、高市首相の演説での発言が円安を容認していると受け止められたことから円安米ドル高となりましたが、その後2025年12月の米小売売上高の伸び率が市場予想を下回り、米国の利下げ観測が再燃したことから円高米ドル安となりました。2月後半から3月中旬にかけては、1月のFOMC（米連邦公開市場委員会）の議事要旨で利上げの可能性を指摘する意見が確認されたことや、高市首相が利上げに難色を示したと報道されたこと、米国・イスラエルによるイランへの軍事行動を巡る緊張が高まったことを背景に円安米ドル高となりました。3月下旬から作成期末にかけては、横ばいで推移しました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の0.44%から作成期末は0.78%となりました。作成期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や日本の財政悪化懸念、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

作成期を通じて、UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

■ UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）

主としてユービーエス・エイ・ジー ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

■ マネープールマザーファンド

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第130期から第135期まで各5円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2025年10月28日 ～2025年11月25日	2025年11月26日 ～2025年12月25日	2025年12月26日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月25日	2026年2月26日 ～2026年3月25日	2026年3月26日 ～2026年4月27日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	2.415	2.451	2.252	2.222	2.392	2.294
当期の収益	4	4	4	4	4	5
当期の収益以外	0	0	0	0	0	—
翌期繰越分配対象額	1,000	1,000	1,000	1,001	1,001	1,002

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

■ 当ファンド

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

■ UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

■ マネープールマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれ、国内金利は比較的底堅く推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

お知らせ

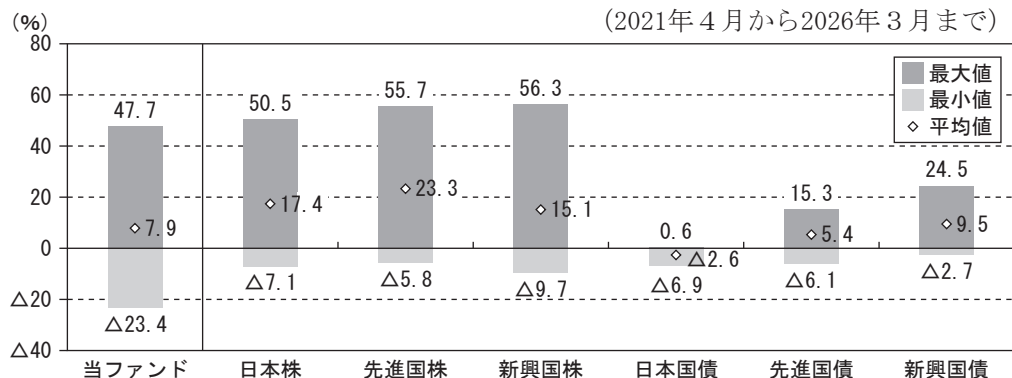
2026年4月1日適用で、「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が合併し「一般社団法人資産運用業協会」が発足したことに伴う名称変更について、信託約款の変更を行いました。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2014年12月19日から2027年4月26日まで	
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主 要 運 用 対 象	円建ての外国投資信託証券であるUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネープールマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2021年4月から2026年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX、配当込み）※1

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）※2

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）※3

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債※4

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）※5

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）※6

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数（TOPIX、配当込み）とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。配当込みTOPIXの指数値及び配当込みTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。

※2 MSCI コクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

※3 MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

※4 NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※5 FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

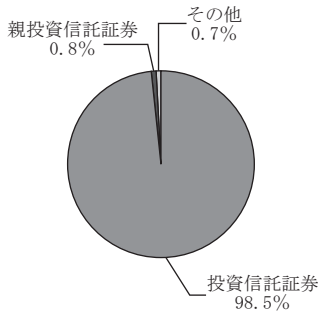
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

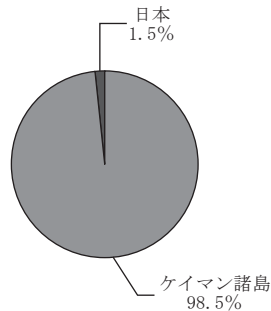
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第135期末
	2026年4月27日
	比率
UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	98.5%
マネープールマザーファンド	0.8
その他	0.7

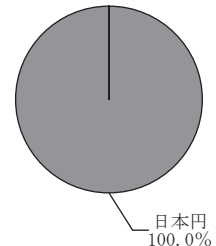
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

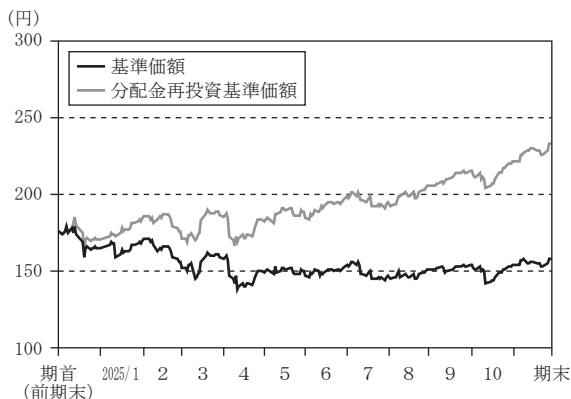
項目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2025年11月25日	2025年12月25日	2026年1月26日	2026年2月25日	2026年3月25日	2026年4月27日
純資産総額	4,451,741,712円	4,662,519,508円	5,097,801,562円	5,079,708,303円	4,731,534,284円	5,696,190,267円
受益権総口数	220,493,728,751口	234,010,601,714口	234,571,445,820口	231,068,578,148口	231,642,110,413口	267,065,032,797口
1万口当たり基準価額	202円	199円	217円	220円	204円	213円

(注) 当作成期間（第130期～第135期）中における追加設定元本額は113,102,308,013円、同解約元本額は67,463,332,374円です。

組入上位ファンドの概要

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）（2024年12月1日から2025年11月30日まで）

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年11月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）の状況です。

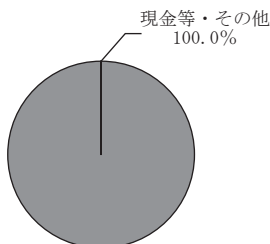
■ スワップ取引の状況

クラス	想定元本額	評価額	比率
シングル・アルファ・クラス	8,384,569,960円	598,658,295円	11.6%
ツイン・アルファ・クラス	288,113,791,480	4,552,197,906	88.4

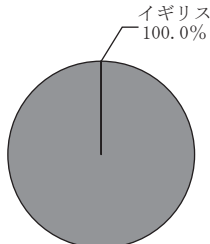
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

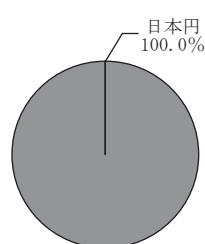
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



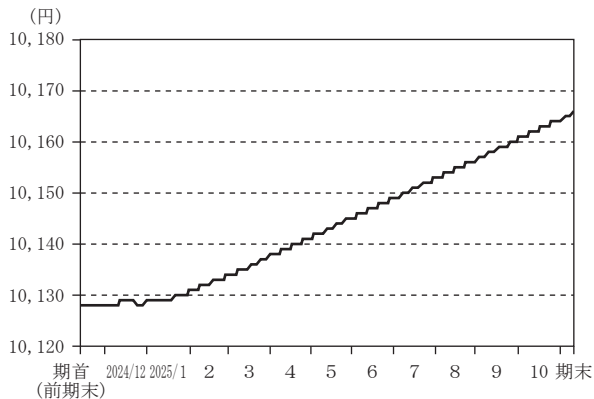
(注) スワップ取引の状況および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

(注) スワップ取引の状況および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) スワップ取引および各配分はUBS証券株式会社、バンクオブニューヨークメロン証券およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

■ 基準価額の推移



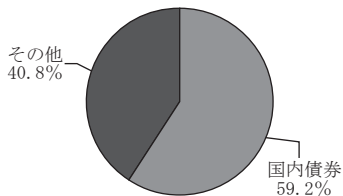
■ 組入銘柄 (組入銘柄数：2銘柄)

銘柄名	種類	利率	償還日	比率
第1329回国庫短期証券	国債	—%	2025/12/8	43.7%
第1325回国庫短期証券	国債	—	2025/11/17	15.4

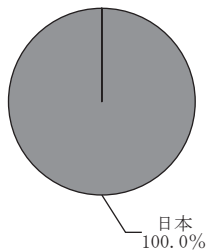
■ 1万口当たりの費用明細

当期において発生した費用はありません。

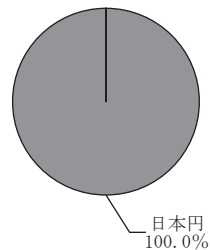
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
 (注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 国別配分は発行国を表示しております。
 ※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。